

# 地方創生に向けたまちづくり

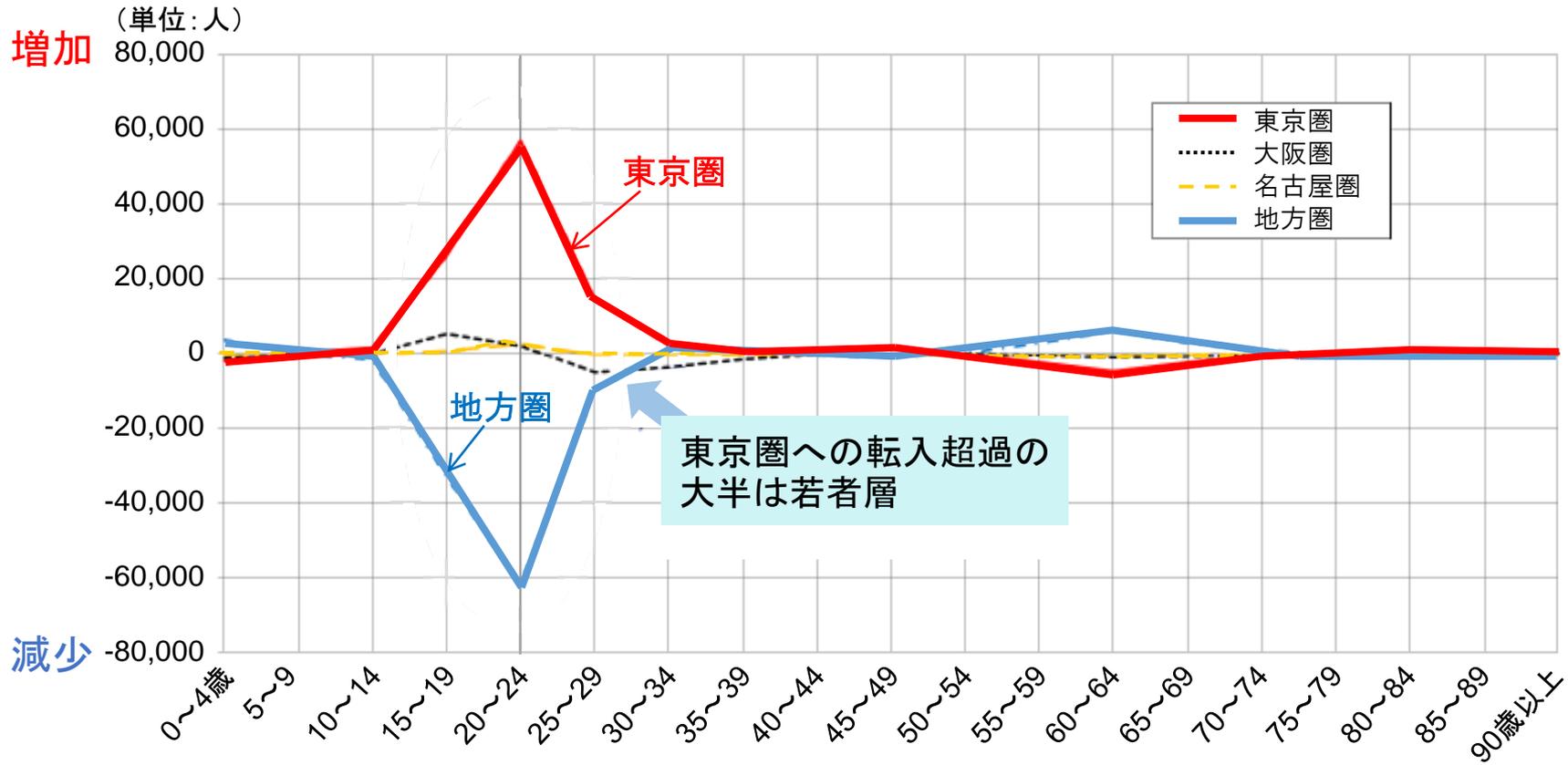
村上 周三

東京大学名誉教授

(一財) 建築環境・省エネルギー機構 理事長

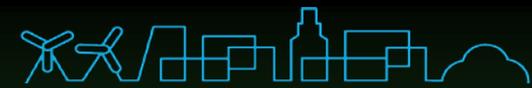


# 地方創生の課題(1): 東京への一極集中

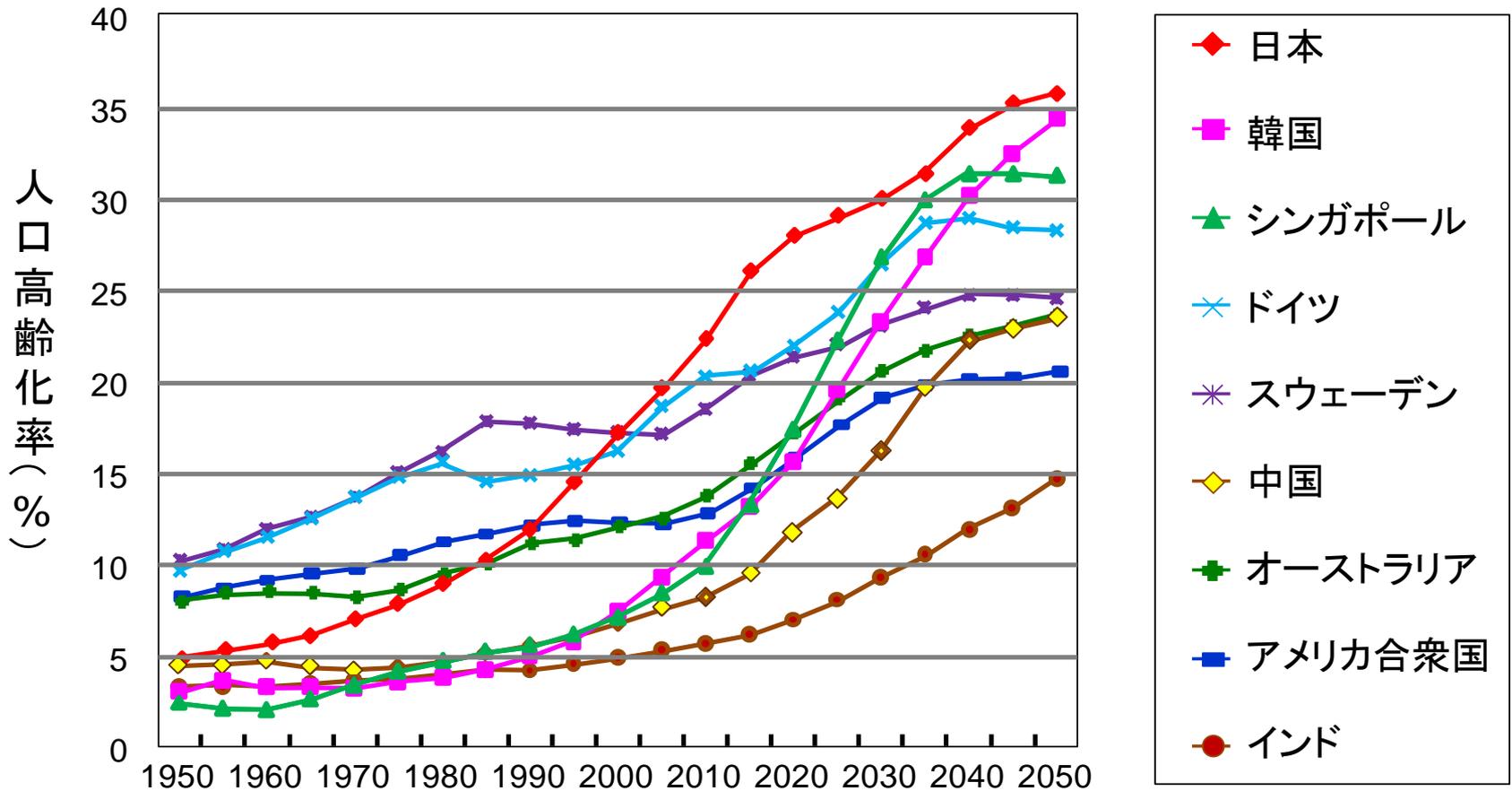


(出典)  
総務省  
「住民基本  
台帳人口  
移動報告」  
をもとに国  
土交通省  
国土政策  
局作成

⇒ 若年層を中心に 東京圏は転入超過、  
地方圏の転出超過

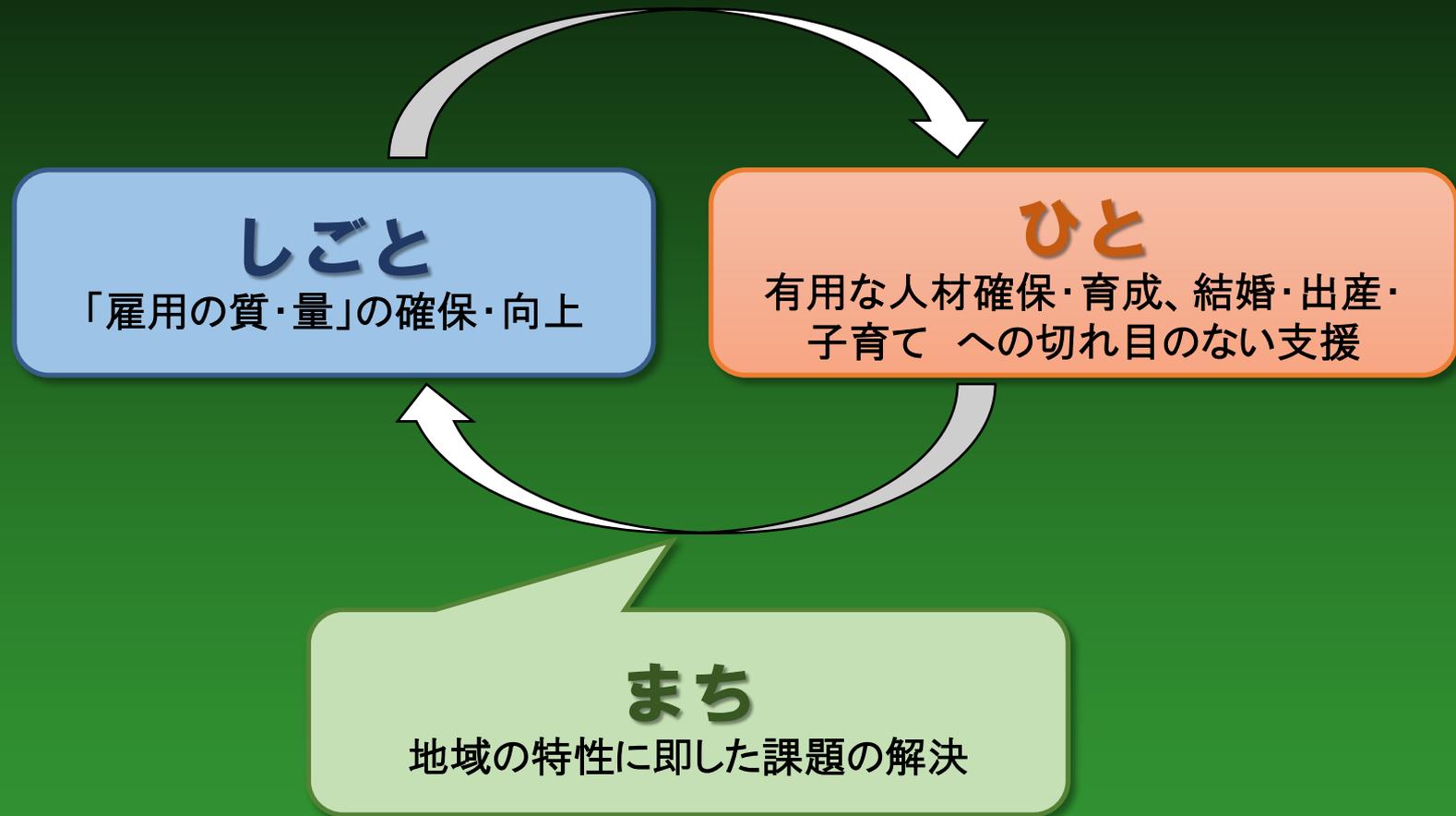


# 地方創生の課題(2): 高齢化社会

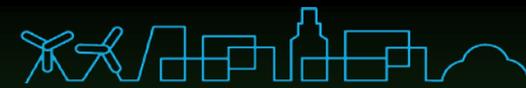




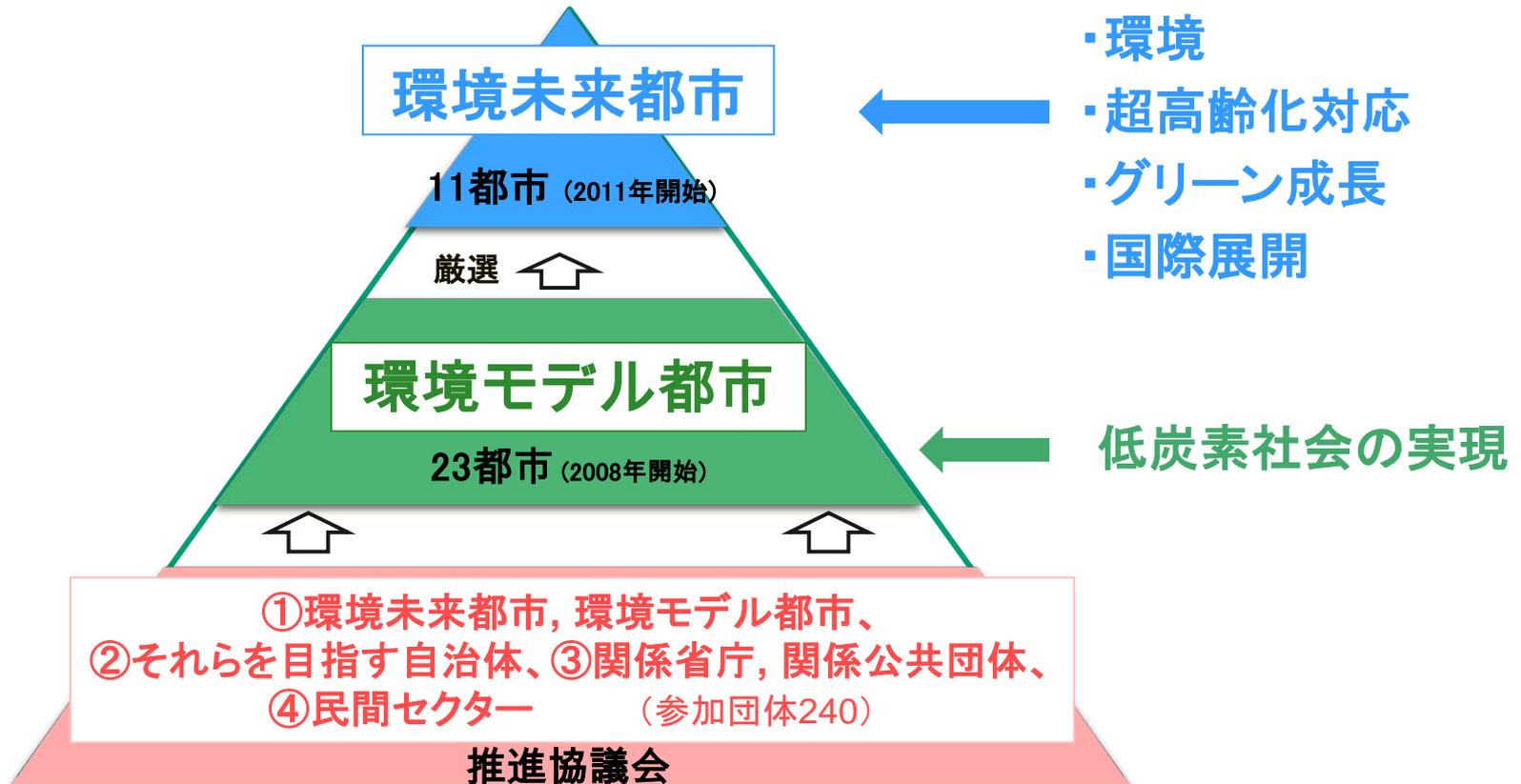
# まち・ひと・しごとによる地方創生



⇒ 各地域の特性を生かした独自性のある取組み

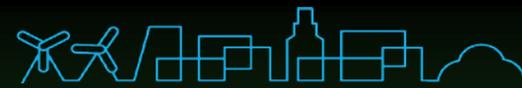


# 「環境未来都市」構想



⇒ 環境未来都市、環境モデル都市、推進協議会の連携による構想の推進

# “環境未来都市” 構想 推進のプロセス

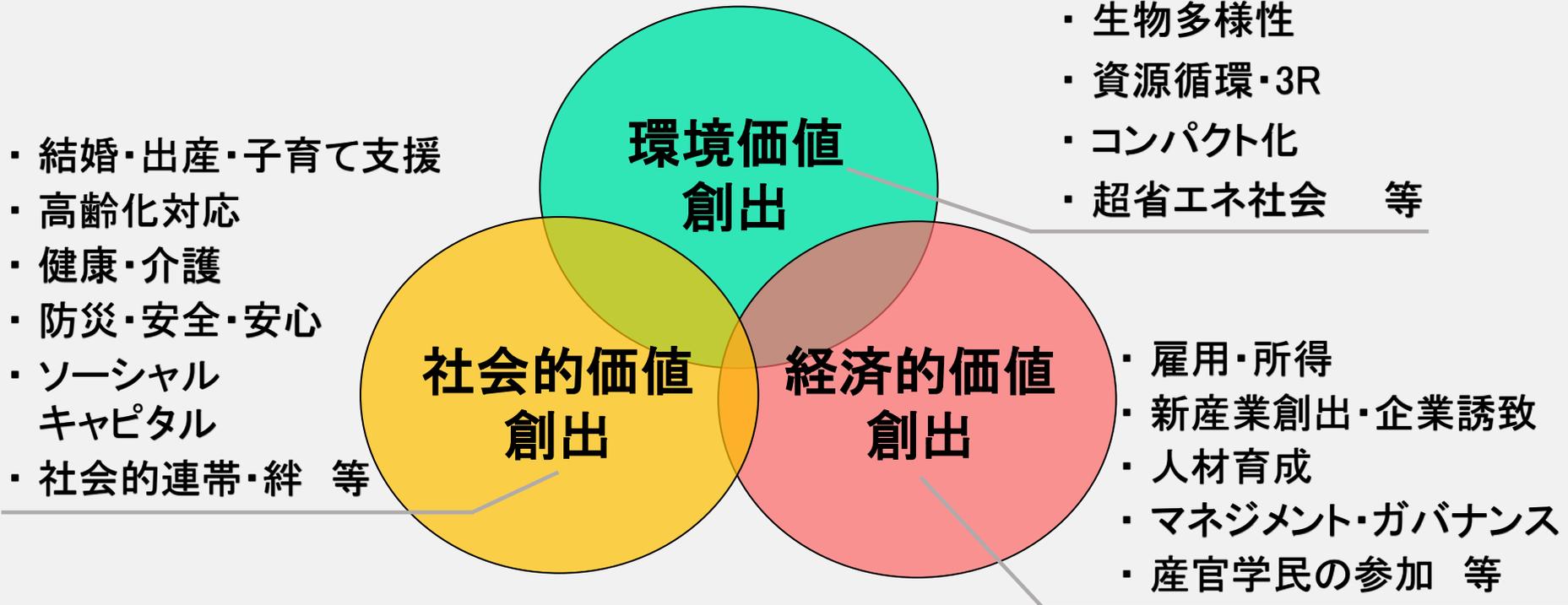


⇒ 人、もの、金、規制緩和の集中投入による  
地域活性化の実現



# 新しい価値創出による地域の活性化

## ⇒ 環境価値創出、社会的価値創出、経済的価値創出



## ⇒ 雇用創出、移住促進、子育て支援等の基盤として



# いかにして価値創出の仕組みを内包させるか？

## 自律的好循環の形成による価値創出の誘発

- ➔ ヒト・モノ・カネを官・民が集中投資し、規制緩和をすれば  
情報・サービス・ビジネス等が集積・融合し、  
新しい価値の創出
- ➔ 新しい価値が創出されれば、さらにヒト・モノ・カネが  
内外から集まる
- ➔ 自律的好循環

## 自律的好循環の波及効果

- 社会・経済システムのイノベーションの誘発促進
- 結果として、誰もが住みたいまち、活力のある地域の実現
- 国の発展のエンジンとしての新しい“活力ある地域像”の提示



# “環境未来都市”におけるプロジェクトマネジメント

## 3レベルのプロジェクトマネジメント

## 強力でスピード感のある推進体制

- (1) 国全体としての総合戦略のレベル
  - 効率的なガバナンスの視点
- (2) 各自治体での総合戦略のレベル
  - 取組全体のマネジメントの視点
- (3) 地域再生計画などの各取組レベル
  - PDCAの視点

### 国レベル

- 自治体へのアドバイス体制の整備
- プログラム全体の推進管理  
(経済的支援、規制緩和等)

### 自治体・地域レベル

#### 自治体と民間セクターによる コンソーシアムの結成

- 自治体
- 民間企業(金融機関を含む)
- 住民, NPO/NGO
- 大学, 研究機関



# 全体セッションにおける論点

1. 各国における地方創生問題
2. “環境未来都市”の成果と発信



# 論点1: 各国における地方創生問題

## 1. 各国において、日本のような東京一極集中や地方衰退の傾向が発生しているか

⇒ この問題に対する、各国の中央政府/ 地方政府の取組は？

## 2. 地方活性化の視点は？

⇒ 日本では

- ①雇用創出、 ②移住促進、 ③結婚・出産・子育て支援、
- ④コンパクト化と行政サービスの向上 等

⇒ 各国の都市における地方活性化の視点は？

⇒ 如何にして、「自分で考える活性化」を引き起こすか？



## 論点2: “環境未来都市”の成果と発信

1. 各国において”環境未来都市”構想のようなプログラムが実施されているか？

⇒ それは地方都市活性化に有効であるか？

2. 環境未来都市の成功事例の横展開は？

⇒ 公民連携、都市間連携、国際連携等は進展しているか？



# まち・ひと・しごと創生が目指すもの



- ⇒「しごと」があれば「ひと」が集まり、「まち」が活性化
- ⇒まちに魅力がなければ、人も企業も去ってしまう



# ポスターセッション

環境未来都市/モデル都市における

優れた取組み事例の紹介

## 「森林未来都市」モデル

豊かな森林環境に囲まれ、森林で豊かな収入を得て、森林で学び、遊び、心身の健康を養い、木に包まれた心豊かな生活を送ることができる町

### 集落課題

過疎化・老朽化  
×  
エネルギーコスト増  
×  
産業衰退

### 複合的対策

集住化  
×  
再生可能エネルギー  
×  
コミュニティビジネス

### 新たなモデル構築

超高齢化対応  
×  
エネルギー自給  
×  
集落再生

## 下川町「一の橋」集落 エネルギー自給型超高齢化対応 集住化エリア

### ◆ 高気密・高断熱の現代風長屋



### ◆ 木質バイオマスによる 熱エネルギー100%自給



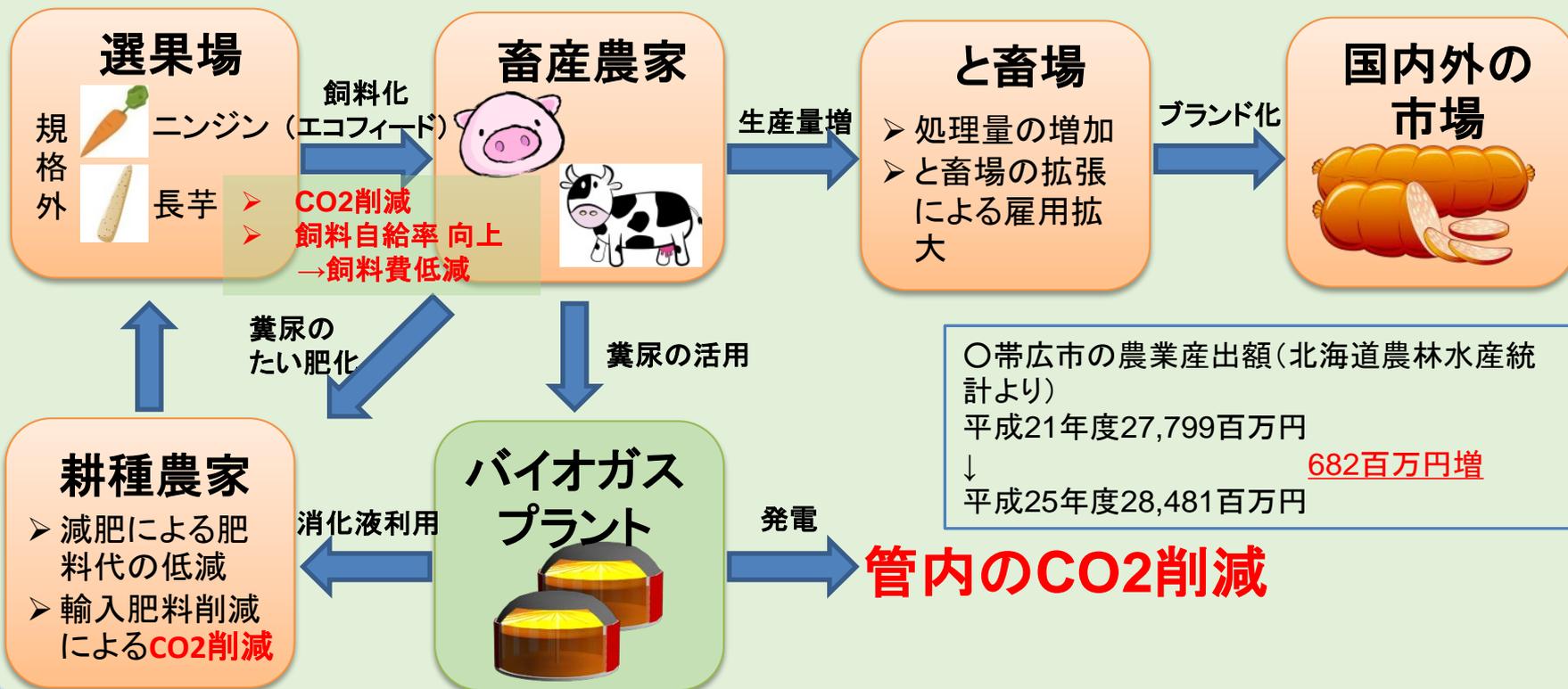
### ◆ 地域食堂、ハウス栽培、 特産品開発等による 集落産業創造



## 農業系バイオマスの利活用

エコフィードの取組により**57,518t-CO2削減**（平成21年度から25年度）

「十勝定住自立圏構想」「十勝バイオマス産業都市構想」に基づく**十勝管内18町村**との広域連携



## 南相馬ソーラー・アグリパーク事業

### 太陽光発電所



- 福島復興ソーラー(株)が500kW規模の太陽光発電所を建設・運営
- 発電量の一部を植物工場に供給
- 売電収益は、復興を担う子どもたちの成長支援事業等に活用

### ドーム型植物工場



- 市が農業再生モデル事業として植物工場を建設
- 地元農業生産法人が施設を管理・運営
- 太陽光発電所の電力を水耕用ポンプや空調に利用

### 体験学習施設



- (一社)福島復興ソーラー・アグリ体験交流の会がキッズニアとの連携により、太陽光発電体験学習を企画・制作
- 太陽光発電所と植物工場を舞台とした体験学習により子どもたちの自ら考え行動する力を育成

### 交流の積み重ね + メディアの共鳴

風評被害を克服

農業・工業・観光の復興

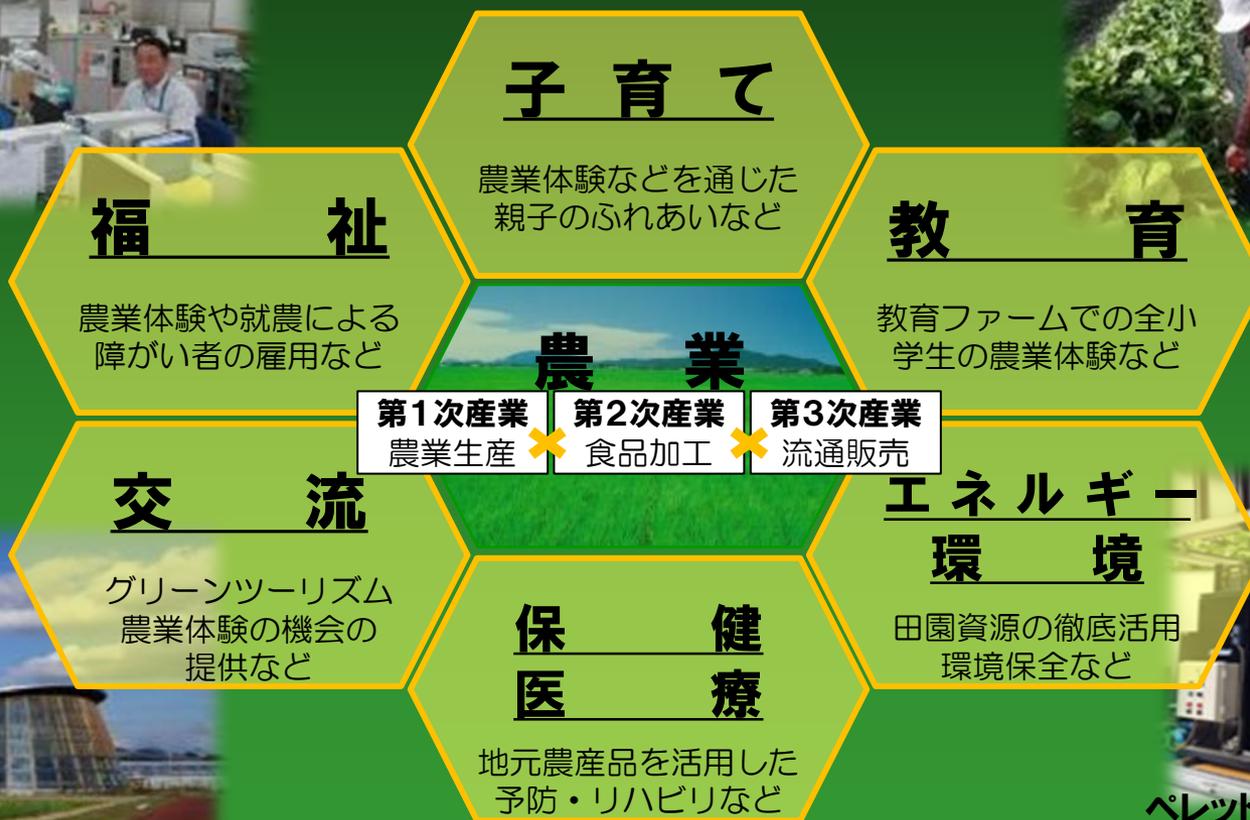
南相馬・福島の復興

産業再生による雇用創出

## 農業の12次産業化

障がい者あぐり  
サポートセンター  
障がい者の就農を促進

アグリパーク  
全小学生が農業体験

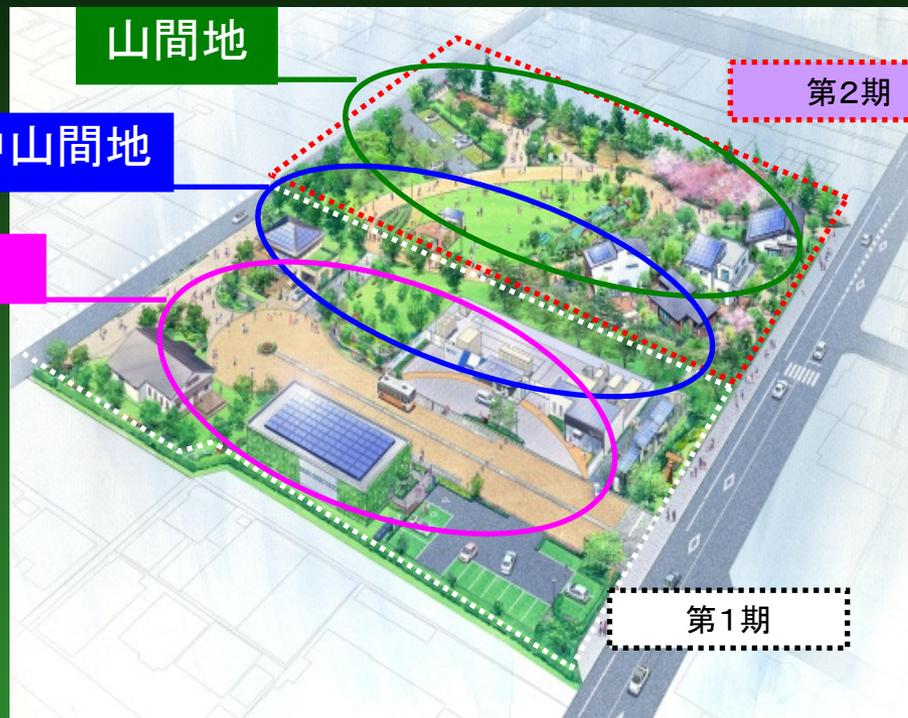


いくとぴあ食花  
食と花のブランド発信拠点



ペレットボイラー  
田園資源（バイオマス）のエネルギー利用

官民連携による豊田市の低炭素社会の取組をわかりやすく伝える情報発信拠点



## ○低炭素交通システムの構築



カーシェアリングシステム  
「Ha:mo(ハーモ)」の取組

## ○国連・豊田市共催による国際会議



持続可能な都市に  
関するハイレベル  
シンポジウム



## ○減税・補助金・エコポイントで、再生可能エネルギーの地産地消を促進

- ◇豊田市版環境減税
- ◇豊田市エコファミリー支援補助金
- ◇とよたエコポイントの利用促進



## 豊富な**地熱**と**森林資源**を活かした地域振興



小国町わいた地区

低炭素化事業



優良木材市

農業

林業

観光業

(地熱とバイオマスを活かした農林業タウン構想)

### 地熱木材乾燥施設



地熱乾燥小屋

仕組みの応用



### 古からの地熱利用

地熱給湯



地熱暖房



地熱こたつ